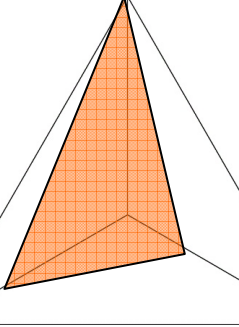


研修名	先生も体験！メディアの特性を知ろう「カメラワーク」編(75分)	
研修のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ被写体の写真でも、写し方を変えると伝わるメッセージが変わるということを体験的に理解する。 ・マスメディアが伝える情報に込められた制作者の意図を分析する。 ・体験したことをもとに、メディアとのつきあい方学習の授業を構想する。 	
この研修のメディアセンター	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 2px; font-size: small;">メディアが生活に与える影響について学ぶ</div> <div style="background-color: pink; padding: 2px; font-size: small;">メディアが取り巻く社会での安全な行動の仕方について学ぶ</div> </div>	研修の意図 <ul style="list-style-type: none"> ○想定する教員の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがデジカメを活用する前に、「カメラの操作方法だけ」を教えているという例は少なくない。教員が「意図を効果的に伝える写真」が写せる子どもにするための指導力を身に付けたい。 ○パッケージの目標 <ul style="list-style-type: none"> ・「カメラワークを変えることによって、伝わるメッセージが変わる」という写真の特性を体験的に理解する。 ・マスメディアが発信する情報の映像から、制作者の意図を読み解く力を高める。 ・子どもを対象にどんな授業を実践すればよいか構想できる。

受 = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る
 送 = 情報の送り手としての工夫・配慮を知る

I. デジカメで撮影する(5分)

- 被写体とテーマを決めてデジタルカメラで撮影し、紹介をしましょう。
先生相互を被写体にして、テーマを意識しながら撮影する

デジタルカメラ(人数分) ワークシート1

II. カメラワークを工夫した写真のよさを知る(30分)

- 写真を提示しながら、テーマが分かりやすいスピーチをしましょう。
受 「自分だったらこうするのに」という視点をもつことが、批判的な見方を育てることを知る
- (スピーチ終了後)この写真(①②③)で伝えたいことは何でしょうか？
送 アングルやフレームを変えれば全く違うメッセージが伝わる、という例示をする
- 被写体は変えず、アングルやフレーム等の写し方を変えて、2枚目を撮って来ましょう。
○1枚目とのちがいが分かるように、紹介をしましょう。
2枚を対比しながら、意図による撮影の違いを確認する

コンピュータ, プロジェクタ, デジタルカメラ, スクリーン

提示資料: 3枚の写真

ワークシート2

III. マスメディア情報に込められた発信者の意図を読み解く(15分)

- マスメディアが伝える情報の中にある、アングルやフレームを変えることで伝え方を工夫している事例を見つけましょう。
個々が付箋紙にできるだけたくさん書きだした後、グループで紹介し合いながら模造紙上に整理する
- 送 制作者の立場に立って、なぜそのような写真を使っているか考える
- 受 そのような写真を見た視聴者の生活に与える影響について話し合う

付箋紙, 模造紙

IV. 実践について話し合い研修のまとめをする(25分)

- 今日研修したことを、子どもたちにはどのように教えればよいか考えてみましょう。
グループで授業概要を構想・紹介する(実施学年 実践名 ねらい 主な活動)
- 研修の意義をまとめます。
写真の特性理解…ローアングル→大きく、ハイアングル→小さく、アップ→被写体が詳しく、ルーズ→周りが詳しく
メディつきゾーン3つの学ぶことを、それぞれ大切に指導する。そのためには、体験的な活動を通して知識を身に付けることが大切。活動の中で情報の「送り手」「受け手」を共に体験することが必要。

マジックペン, 模造紙